

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下同番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

定部金貳錢 廣告五錢 印刷費五錢 電話六三〇番

平町古鍛冶町八十八

日本齒科 神谷辰夫

平町南町 電話一二九番

上田外科醫院

高久病院

學生夏服

花柳科專門

木村外科醫院

入院自炊の便あり

平町五丁目橋際 電話三〇九番

刊々日九十月七

◆露披業開◆

科齒

科外腔口
般一科齒

平町古鍛冶町八十八

日本齒科 神谷辰夫

醫學士 神谷辰夫

科外

門專光 ×
科線光

入院應需

上田外科醫院

平町南町 電話一二九番

高久病院

院長 醫學士 高久清忠
副院長 新潟醫學士 赤羽久
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

平町田町 電話五二三番

學生夏服

1・2年用.....85 錢
2・3年用.....95 錢
3・4年用.....105 錢
4・5年用.....115 錢
5・6年用.....125 錢
高等科用.....160 錢
中學生用.....240 錢

各種子供服 夏帽子
ネクタイワイシャツ取揃

五丁目 電話三五三

タヤ

花柳科專門

木村外科醫院

入院自炊の便あり

平町五丁目橋際 電話三〇九番

萍生句帳(萍生會七月例會)

水鐵砲

悪太郎の金魚叩くや水鐵砲 松堂
水鐵砲底の猫をはじきけり 文狂
自轉車の一喝し行くや水鐵砲 茂竹樓
水鐵砲蜻蛉結びの草履かな 萬袋
水鐵砲濡れ行く垣の外一人 耕影
みこ達も興がり給ふ水鐵砲 閑月
あらはなる尻向け合ふて水鐵砲 孤舟

中元暑中の御贈答には何時も新味のあるツルヤの品を.....商品切手が最も便利です

にツルヤ

四丁目 電話百四十番

有聲座

土曜學生デー

中元暑中の御贈答には何時も新味のあるツルヤの品を.....商品切手が最も便利です

十九日ヨリ三大雄篇

大帝キネ 松本三郎大猛闘主演

奇傑照 賀川清 嵐璃徳 久野あか

つれ鳥羽玉 荒木忍 金子新 大谷鬼若 川田弘三 五味國男 東條猛助

艶町系のみたれ 春の日に主と二人で 向島雪かみぞれが降る わいな 雪じやござんせぬちらくと 花が散る

水鐵砲に服を濡らして歸る子よ 同

水鐵砲に垣の青蔓揺れやます 何鳴

水鐵砲芭蕉をうつて虹を撒く 同

看護婦派出的の求めに應ず

平町南町 電話三〇七番

平町細屋町(縣社通り)

美味評判 平町南町 電話四六〇番

耳鼻咽喉科専門

新築移轉

氣管食道科

平町南町(舊診療所向)電話一七〇番

大和田醫院

藥舖並食堂開業

田町三六 (從來の藥局跡)

宇佐美藥舖

田町 鮮魚仕出し

三丁目郵便局前 移轉 宇佐美藥局

御愛顧願上ます

無代進呈 (傳染病豫防の爲)

日本一のガマ印蠅取紙一人二枚宛呈上

伏炎の暑一蹴 涼風拂超々特別大興行

拾九日寫眞替り

松竹下加茂特作時代映畫 原作 萩原忠 監督 宇澤芳幽貴

山中 悲譚 主演 阪東壽之助 加賀山中の湯宿を中心として薄命の姉弟が仇討の旅に病む人の世の一切を語る

◆御期待の名篇 原作 菊地寛先生 監督 溝口健二氏

◆全日本に大音響を立てた

富と貧文化、學問、教養、藝術、罪惡、墮落 東洋第一の近代都市の中へ.....其の真理に向つてメスを向けて赤裸々に突進して行くのが本篇である

◆活近來傑作集の一 監督 由田正和 原作 尾上華丈 櫻井京子 葛木香一

任俠 大前田道中記 全 日記の正しさを正しをとし、正しからざるを正しからざるとした俠骨の涙笑常なき旅

東京行進曲 明石真砂嬢 特別來演

電話 館平 〇四 普通 〇五 一等 〇六 大小 〇三

夏衣陳列

の柄な粹

地衣浴ツープス

たかゆ優女み好一タス

種數廿形中外 形中駒入

目丁三平 屋田龜 すまひ願を命用御ぞうど

暑さに喘ぐ…… 人群れの賑はひ

海へ海へ押し掛く

海水浴の好期となり警城各濱は非常な賑はひを呈してゐる、殊に小名濱には海軍兵の簡閱隊呼称執行のため軍艦五十餘が入港中なるの軍艦見物旁々海水浴をなす者が非常に多く賑はひを呈してゐる、小名濱の次に賑はひつてゐるのは四ツ倉で舊七月二十日には埼玉縣桐生市から大師會員約百名の團體が來町するとの事であるが同町では十六日同町消防組員が全部出勤して海岸の大掃除を勵行した、各濱に於ける浴客迎合の準備は殆ど出来上がり一夏を滞在する豫定の避暑客も入り込一家をかまへてゐる、警城各濱が一番人出で賑はふのは七月二十五日以後で小學校が夏休みになつてからと見られてゐる

民政幹事長に 約手を請求

三百圓の訴訟

石城郡平町出町森本盛一氏は福島市星辯護士を代理人とし十八日福島區裁判所に本縣民政黨幹事長釘本術雄氏を相手取り約束手形金三百圓の請求訴訟を提起した

平町壯丁 受檢不能

六名あり

平町に於ける本年度壯丁検査に當り行方不明の爲め受檢不能の者は左記の如く十七日平町役場兵事係から平署に届出でた

- 平町北目九相馬宗、同鈴木秀雄、同町南町六九六關文藏、同材木町坂出高安、同鎌田町渡邊國五郎、同松澤弘

女運轉手

四倉で大持て

海水浴客で賑つて來た四ツ倉濱海岸に最近婦人の自動車運轉手が現はれて盛んに浴客を運轉してゐるが石は石城郡大野村酒井藤松方村上公子(こ)と云ひ廣島縣絲崎町生れで警視廳で運轉手

ボイラー用として 粉炭を盛んに消化

大倉鑛業の計劃

常磐地方に鑛區を有する炭礦各社は同地方産出の石炭は地炭に比し非常に品質悪く、したがつて之が需要先も限られてゐる關係から不況に際してはとかく窮境に陥り勝ちなので各社は何とかして消化しようとする努力が石炭液化も先頃來折角研究中であるが大倉鑛業社は最近船舶ならびにボイラー用として粉末石炭が盛んに推奨されてゐるに鑑み今回粗悪炭消化の一策として石炭粉末化を企て川口町の國立燃料研究所にこれが處理研究方を依頼した石粉末石炭は發火爆發性に富むこれが燃焼に際しては精巧なる機關を要する關係上機關は故障し勝であり、また常時炭の如き粗悪炭は溶解しにくく、流動性残滓を殘

女教師遊戯

講習を催す

石城郡第三區教員會主催遊戯講習會は來月一日より三日間平町第一小學校講堂に開催するが講師は今泉薫氏である

波立薬師

餘興燈籠流し

双葉郡久之濱町波立薬師例祭は二十、二十一の兩日執行されるが餘興として燈籠流し樽太鼓手踊等がある



季節向きの漬物

◇キャベツの葉をはがし莖の太い所を切りとり小口か

七ツ子の溺死 十七日午後二時頃小名濱町字定西柳内保三郎長男幸一(七)は同村定西地内の海岸において友達二三人と水泳中浪にさらはれ溺死した

兔の耳 恐るべき感化實例 本月十五十六兩日夜徳島市佐古尋常小學校に放火したるものあり徳島署において犯人嚴探の結果同校生徒佐古郡初江島村山留一(八)假名が例のピストル強盜教師松下國雄に倣つて自ら強盜に化け友達數名が巡査搜索隊となり強盜に化けた留一が追跡を免れるために塵箱や紙屑籠に點火して立上る煙で搜索隊の目を晦まして逃走する泥棒遊びをなしたものと判り十八日午前記留一を徳島署に連行目下嚴重取調中である

明日の天気 晴曇半ば 温度下

にはなします、別に若荷の子青唐辛子紫蘇の葉などを細く刻み茄の水氣をしぼつて一緒にませ合せ鹽を少し入れて軽くもみます。それをさつと水洗ひしてよく水を切り醬油にごく少量の砂粉を入れ中につけ少し醬油がしみでから黒ひます

期待を裏切つて トント漁がない

原因は潮流の低温から 但し望みは近い

石城郡小名濱から豊間を中に隣海久ノ濱平潟等各濱に於ける大敷網の今夏漁獲は期待を裏切つてトント漁がない、昨夏はいくら不漁だと云つても各濱を通じてまでに四十萬は突破した、然るに本年同期は十萬圓が出でない此の分でゆくと今年の夏職大敷網漁獲の成績は大缺損するかも知れないと云ふので富業者も疑ら

大敷網

サテ原因はその筋の通りに聞いて見ると潮流の關係であるとの事である昨年の今頃は海水の温度も低して十七八度から二十度はあつたが今年には七度と云ふ低温なため暖流を追つて行く魚群は沖合五六十海哩の遠距離を遊泳してゐるからとの事であるこの今までの事低温は獨り大敷網のみの影響に止まらず、水くまりを渡世とするアワビ獲

りなどもいつもなら真つ裸で海中に飛び込むのも海水が餘りに冷たいので防寒用具として股引きやネル肌襦袢を身に付けて仕事に取り掛かるのだがそれでも冷寒が身にこたへるので長續きが出來ずンコノノ引き上げると云ふ騒ぎである

圖書の講習

講師に酒井教諭

石城郡第三區圖書講習會は廿六日より五日間毎日午前九時より午後三時迄平第一小學校に開き講師は警女教諭酒井英記、警中教諭近藤廣記の兩氏である

チーフ白菜

石城郡農會では優良な結球

白菜の栽培を奨励すべく過般來全國各地の白菜生産地から良種を取寄せ試験中であつたが本縣のチーフ白菜種が最良である事判明したので此を全部下に普及奨励する事となつた



内郷納税表彰

郡内郷村では來る二十七日午前十一時より小學校において優良納税組合表彰式を舉行するが平稅務署から岡部署長、阿部直稅課長臨席